

悪人さん、ありがとうございます

—悪のロシアンルーレット—

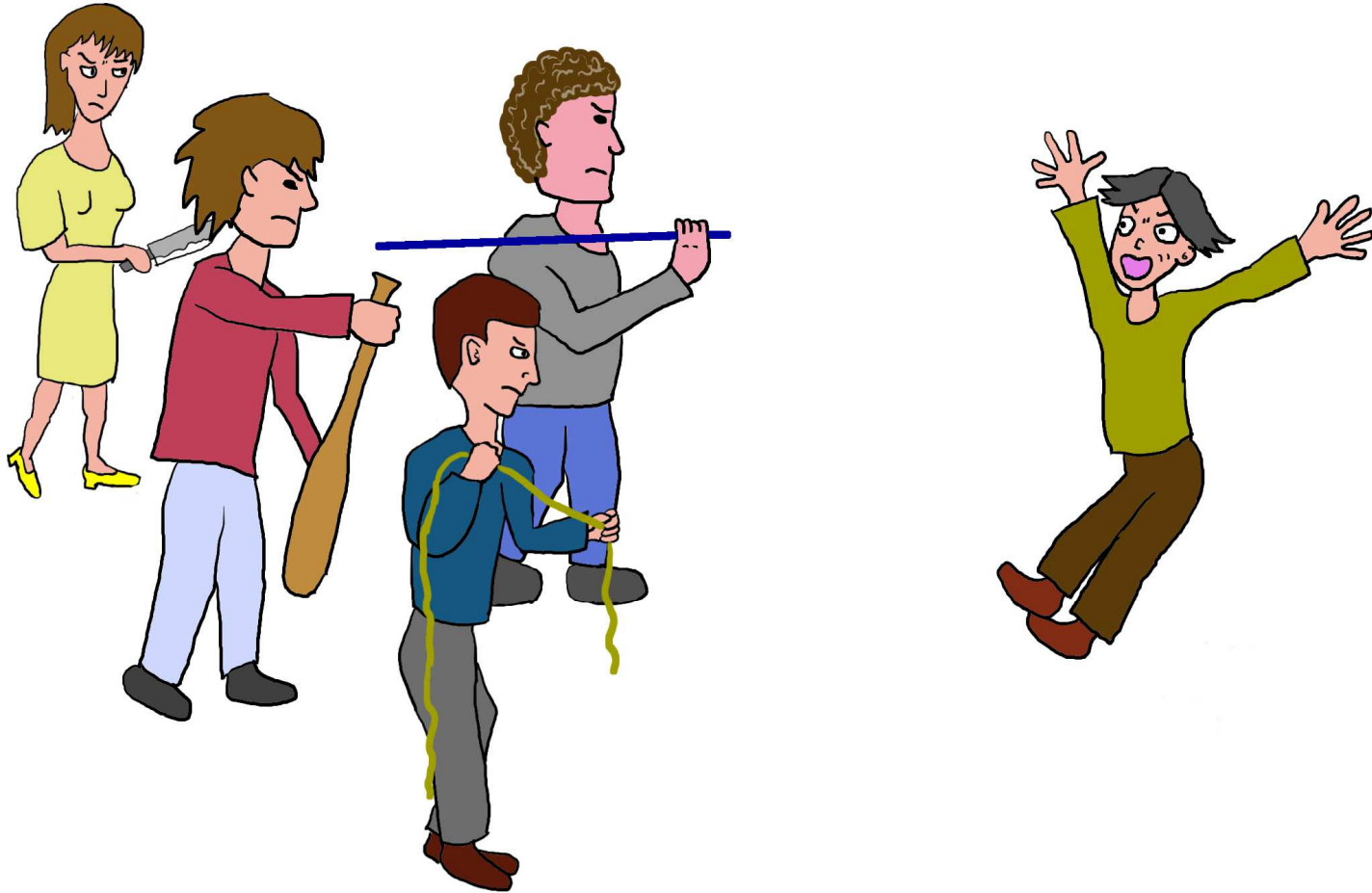


東郷 潤

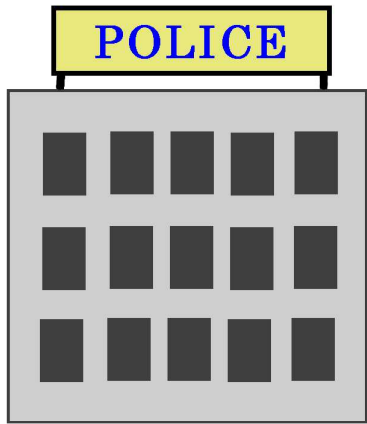
あなた、不安を感じたことはありませんか？ 　いつか誰かに、自分のことを、悪人だって思われやしな
いかって。



そしていつか、ひどい目にあわされないかと。



あなたが実際に悪人かどうか、が問題なのではありません。問題は、他人があなたをどう思うかです。

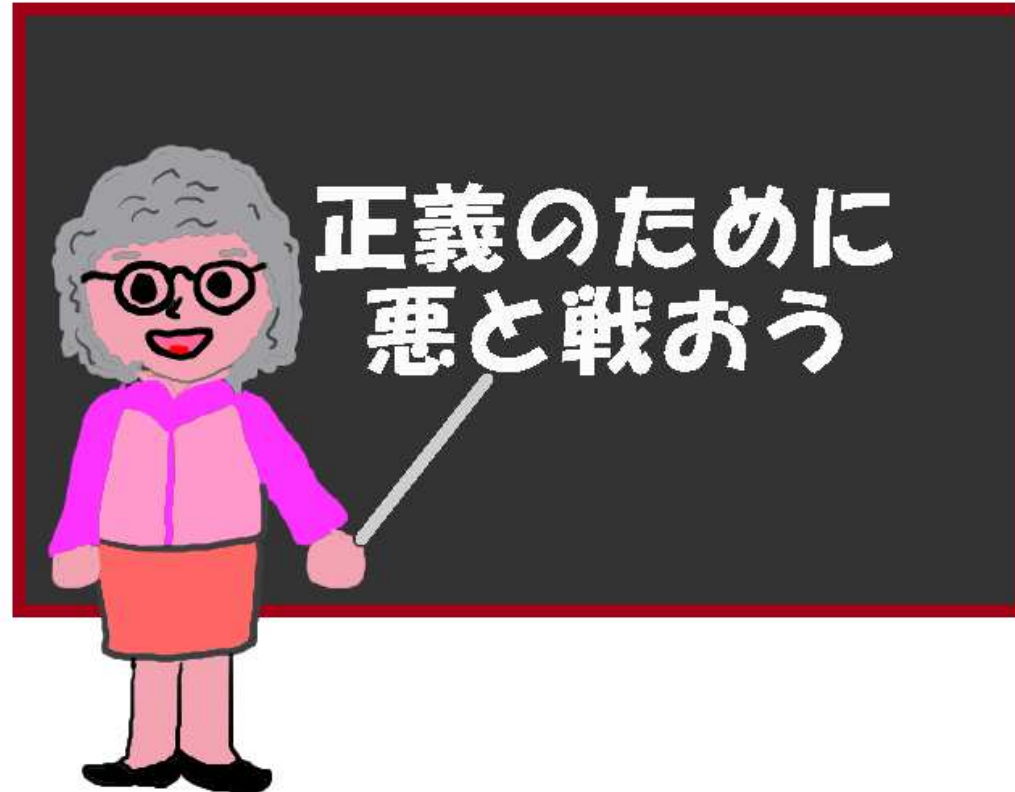


たとえあなたが常に善なることをしていたつもりでも、悪人だと誤解されてしまう危険を100%防ぐ手段はありません。



善悪は、二分類という大雑把なもの。人によって、どうとでも変わりますし、そもそも人間というのは、他人を誤解する生き物なのです。

さて今、地球上で、多くの人々が、悪と戦わなければいけない、と信じています。



そのため多くの人々が、「悪人狩り」をしています。

国際社会でも、悪人狩り。





人権を守らないのは誰だ？

可愛い動物を殺すのは誰だ？

TERROR

テロリストは誰だ？

環境を破壊するの誰だ？

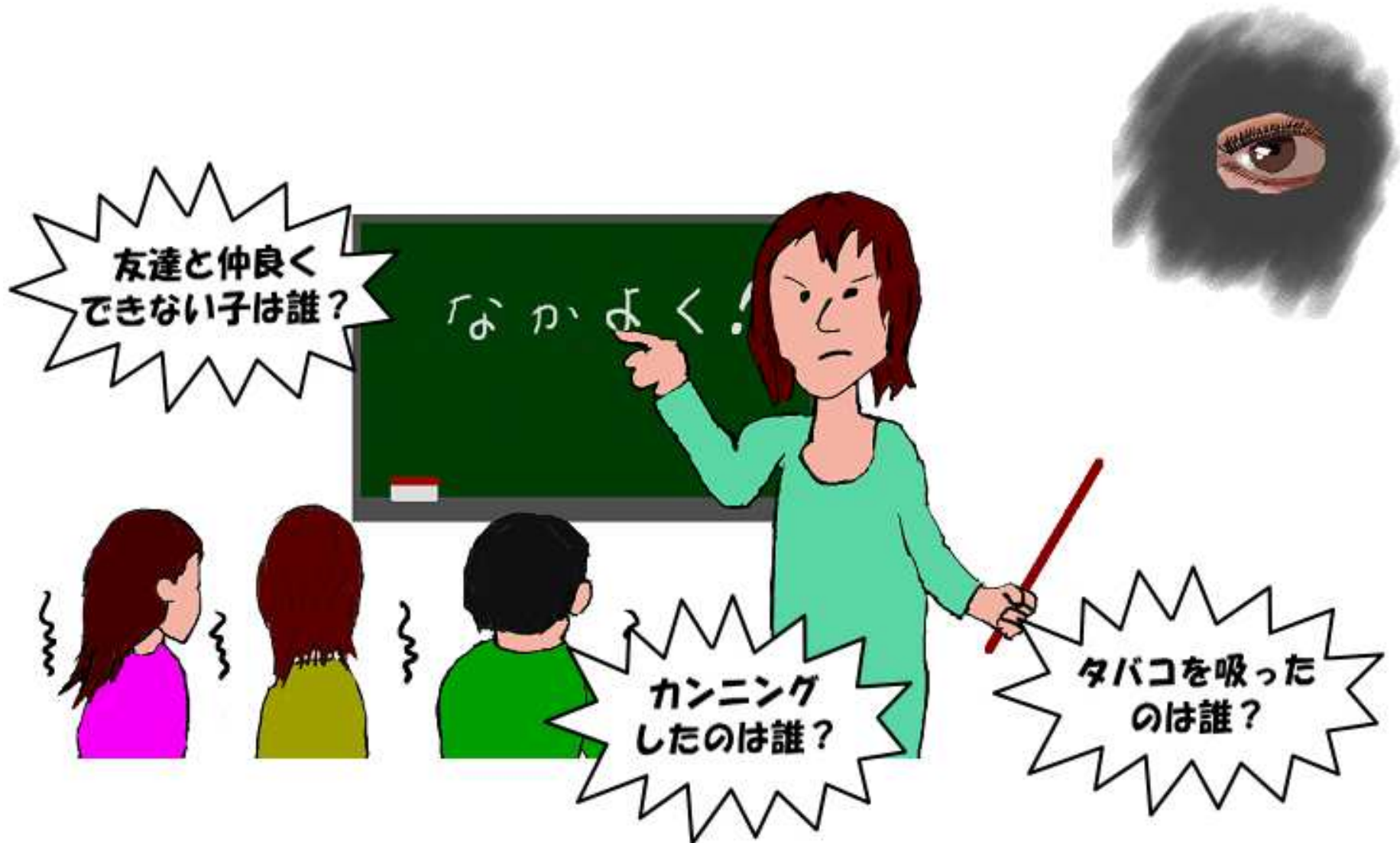
国の中でも、悪人狩り。



会社の中でも、悪人狩り。



学校の教室でも、悪人狩り。





ああ、怖い！ 今日もまた、人々が悪人を狩っています。

ここで質問です。

[質問] 何が悪人狩りのペースを遅くしてくれるでしょう？

[答え] 十分な悪人が見つければ、悪人狩りのペースは遅くなります。

悪人狩りは、悪人と戦い、打ち負かすために行なうものです。もし多くの悪人、強い悪人を見つけたら、打ち負かすのは大変です。

それ以上、悪人を見つけても戦えないので、悪人狩りのペースはどうしても遅くなるのです。

ほら、誰かが悪人を見つけました！



さあ、みんなで悪人を攻撃します。

ほら、あなたも、悪人と戦わなくちゃ。そうしないと、悪人の味方だって思われちゃいますよ。



ね、みんなが悪人と戦っている間は、次の悪人狩りはお休みです。・・・それに、あなたも一緒に戦えば、あなたは正義の味方。悪人として狩られる可能性は、ほとんど有りません。

・・・あなたはもう、お分かりですね？

みんなが悪人狩りに熱中する世界で、あなたが今、無事に暮らせているのは、あなた以外に、悪人として狩られ／必死に戦っている人々がいるからなのです。



「悪人さん」が、みんなの攻撃・憎しみを一手に引き受け、戦ってくれている間は、あなたが悪人として狩られる危険は小さいのです。

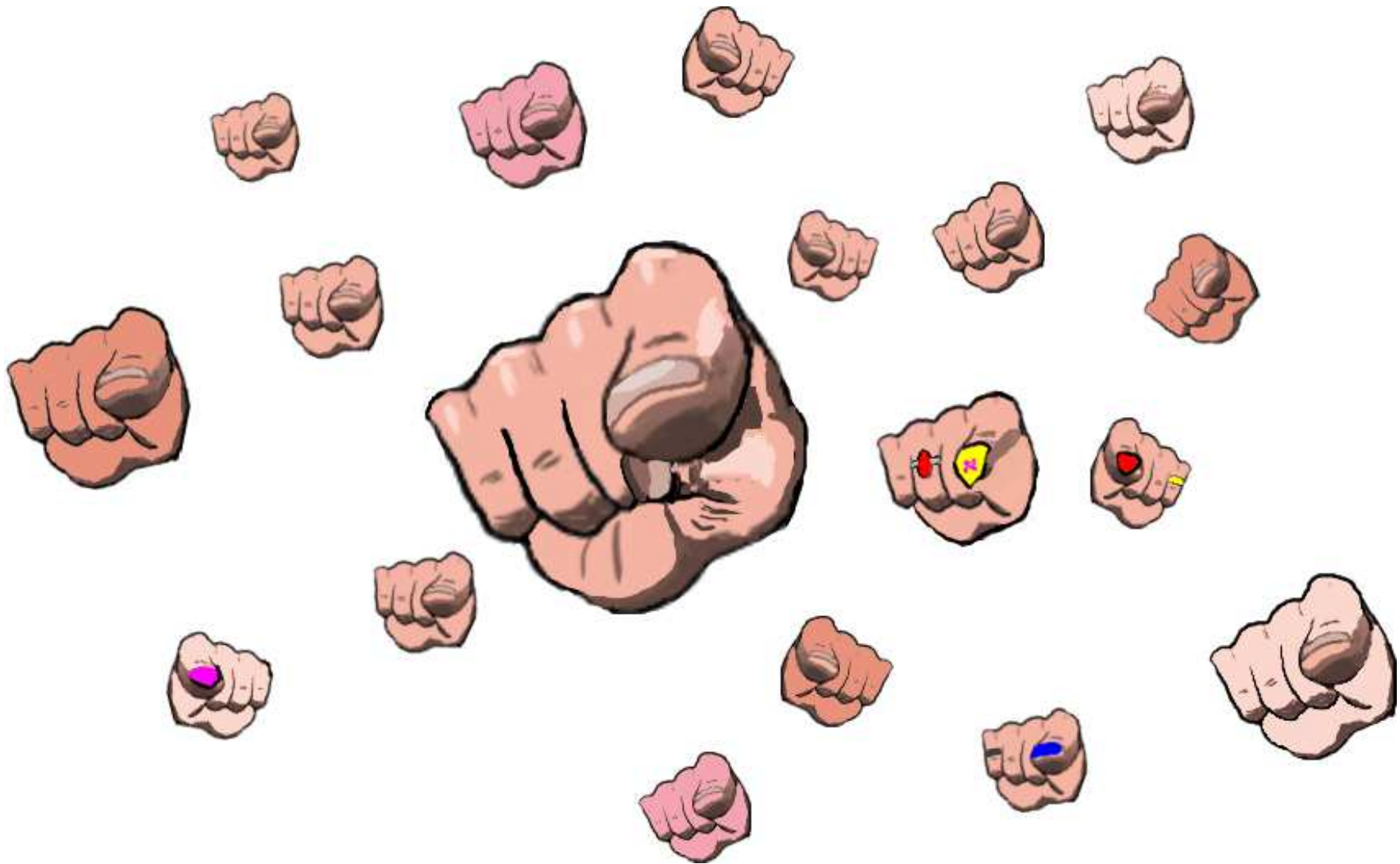


でも…、もし悪人さんが負けちゃったら？



つき…、
誰の番？





あとがき —絵本「悪人さん、ありがとう」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます（詳細は、下記WEBの絵本集、弊著「善悪中毒」、WEB本「原爆への復讐」をご参照ください）。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010